

白神通信



藤里森林生態系保全センター

令和3年12月24日 No.101

[contents]

- ◆ 藤里幼稚園岳岱たんけん！ P2
- ◆ 藤里町町民祭大盛況 P3
- ◆ 白神山地世界遺産巡視員会議（秋田県側） P4
- ◆ 藤里小学校森林環境教育・木育実習 P5
- ◆ 管理棟・展示施設の冬支度 P6
- ◆ 令和4・5年度国有林モニターの募集 P6

藤里幼稚園、岳岱たんけん！

藤里幼稚園の園児15名が、岳岱自然観察教育林を探検しました。

10月7日（木）に世界遺産センター藤里館で事前学習をしてから、8日（金）にいざ岳岱へと出発しました。

園児達は「たんけんカード」を頼りに葉っぱや木の実を探しながら、元気いっぱいブナの森を散策しました。中でも大人気だったのが、カツラの葉っぱとたぬきのおならでした。カツラの葉は匂いを嗅ぐとわたあめのような甘い匂いがして探検の疲れを飛ばしました。たぬきのおならというのはホコリタケというきのこで、指でつまむと胞子を飛ばします。

園児達も楽しんでくれたみたいで、けがもなく無事に探検を終えることができました。この体験が少しでも、子供たちが地元の自然に興味と愛着を持つきっかけになればと思います。（谷川）



藤里町町民祭大盛況



展示物を見学する来場者



撮影された動物写真の説明

11月6日(土)、藤里町では町民祭が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大の関係から昨年に続き規模を縮小しての開催となりましたが、当センターでは「パネル展示」と「缶バッジ製作体験」などのコーナーを企画しました。

パネル展示では、森林教室の様子、センサーカメラを用いた中・大型哺乳類調査で撮影された画像、ドローンで岳岱自然観察教育林を上空から撮影した画像の展示をしました。中・大型哺乳類調査で撮影された画像では、夜に行動する動物が多く、人目に付きにくいいためか、「こんなに沢山種類が居るの?」「この動物この辺りで見たこと無かった。」など、白神山地周辺で撮影された動物を見たことない方が多く、興味深そうに撮影された画像を見ていました。

岳岱自然観察教育林の航空写真を立体鏡で見る体験では、見るのに苦戦している様子でしたが、職員で調整して見てもらうと、立体的に見えたようで感動してもらえました。

缶バッジコーナーでは、400年ブナや白神山地の動植物などの台紙から好きなものを選んでもらい、職員は作り方の説明にとどめ、希望者本人による作成としました。缶バッジの絵が逆さになったり台紙がはみ出たりと、子供だけで無く大人も苦戦しているようでしたが、幼稚園児からおじいちゃんおばあちゃんまで幅広い年齢層の方々に楽しんでいただきました。これからも、地域の繋がりを大事にしていきたいと思えます。(山内)



大人気の缶バッジコーナー



立体鏡の体験コーナー

白神山地世界遺産地域巡視員会議(秋田県側)



12月9日(木)、令和3年度第2回白神山地世界遺産地域巡視員会議(秋田県側)が八峰町の文化交流センター「ファガス」で開催されました。

この会議は、巡視活動の効果的な実施と関係者間の情報共有が図られるよう年2回実施しています。今回の開催は2回目で、巡視活動が終わったこの時期の開催とし、29名が出席しました。

会議では、関係各機関における今年度の巡視活動等の実施状況、核心地域への入山状況、樹木損傷等の状況、ニホンジカの確認情報、ナラ枯れ被害の状況等について報告がありました。

今年度の世界遺産地域における樹木損傷等の状況は、秋田県側ではマナー違反は確認されていませんが、青森県側で樹木の損傷2件が確認されています。

巡視活動については、遺産地域及び周辺地域を含めて、ほぼ全域にわたって実施されていますが、委嘱巡視員の巡視日数については、去年の75%(41日減)となっています。減となった理由としては、5月16日から17日にかけて、大雨により道路が被害を受け、町道白神二ツ森線・県道水沢線の復旧に時間を要したこと、及び粕毛林道が通行止めの措置となったことによる影響が考えられます。

グリーン・サポート・スタッフについては、昨年と同様に3名体制(1班2名)で遺産地域及び周辺地域を主として、米代西部署管内について広く巡視されております。

今年度の合同パトロールは、新型コロナウイルス感染症、大雨による、粕毛林道、町道水沢山林道、町道白神二ツ森線の被害により通行止めとなったことから中止としました。

巡視員の皆様からは、樹木の損傷、ニホンジカの情報収集の方法、クマゲラやイヌワシの生息状況、粕毛林道の通行止めなど多岐にわたり意見や質問がだされ、幅広い情報共有ができ、有意義な会議となりました。

令和4年度については、粕毛林道について災害復旧工事等が予定されていることから、工事の進捗状況を見ながらパトロール箇所について検討することとします。(山内)



藤里小学校森林環境教育・木育実習

12月1日に藤里小学校からの要望で、生徒2人に「森林環境教育」を行いました。

白神通信No.100号でお知らせしていた研修棟のリニューアルの記事を見て今回の要望となっています。

はじめに展示室で昔の作業風景写真について説明すると、秋田杉の樹齢や巨大なノコギリなどに驚いたり、白神山周辺で見られる山菜や花、動物にも興味を持って聞いてくれました。



その後は実習室での木工体験です。貯金箱作りをしましたが、釘を打つのが難しいようで、なかなか苦戦しているようでした。先生にも手伝って貰いながらどうにか組み立てることができ、飾り付けになると、用意してあるドングリや松ぼっくり、枝等をうまく組み合わせて貼り付け、自分だけの貯金箱作りに没頭していました。

今回、リニューアル後初めての森林環境教育で、こちらの改善点等多々ありましたが、先生方からは「別のクラスでも使いたい。」「学習室だけでも暫く居れそう」といった感想を頂きました。

1月にも別の団体から利用したいと要望がきており、それまでに改良等を進めていきたいと思えます。

当センター研修棟は森林環境教育に役立つ展示と木育の一環である木工を1箇所出来る所となっています。お問い合わせについては当センター (tel:0185-79-1003) までご連絡下さい。また、ホームページ(<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato>)でも紹介していますので、そちらも併せてご覧頂ければと思います。(入山)



管理棟・展示施設の冬支度

登山シーズンも終わり、冬期間の通行止めとなる前に小岳、ニツ森、水沢にある巡視管理棟と岳岱にある多目的展示施設の冬支度を行いました。

管理棟は、積もる雪で窓ガラスなどが割れないよう板で覆う作業を行いました。水沢では管理棟の壁にカメムシがびっしり付いていて、近寄りがたい感じになっていましたが、無事終わることが出来ました。

岳岱の多目的展示施設については、展示物等の後片付けと雪の重みで建物が潰れかけた事もあったため、軒先に鉄の支柱で補強をしました。今年は展示施設の模様替え等（白神通信No.99掲載）の効果なのか、巡視の都度補充していたパンフレットの数は500部以上になりました。

今年はシーズンオフとなり展示施設に行く道も通行止めになっていますが、春夏秋と様々な景色が見られますので、来年もお越し頂ければと思います。（入山）



黒い点々がカメムシ



鉄の支柱で補強



ブルーシートで保護作業

令和4・5年度国有林モニターの募集

東北森林管理局は、国有林野の管理経営に皆さまの声を役立てていくため、モニターを募集しています。

募集人数 ◎48名程度

※各地域内の人数及び年齢・男女比等の均衡を図るため、最終的な人数と前後することがあります。

募集期間 ◎令和3年12月1日（水）～令和4年1月31日（月）{当日必着}

任期 ◎令和4年4月1日から2年間

内容 ◎アンケートへの回答、現地見学会、国有林モニター会議への出席など

応募資格、応募方法など、詳しくは東北森林管理局HPをご覧ください。お問い合わせ先

東北森林管理局 企画調整課 林政推進係

Tel : 018(836)2228

FAX : 018(836)2031

メールアドレス : t_kikaku@maff.go.jp

HP : <http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>

(発行)林野庁 東北森林管理局 藤里森林生態系保全センター



〒018-3201 秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添 24-3

TEL:0185-79-1003 FAX:0185-79-1005

<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/>

